

静岡県漁業協同組合連合会
1108 静岡市追手町 9-18
16.9.3 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 平成16年度天草共販第4回入札会開催される

本会では、去る8月25日天草事業の第4回入札会を賀茂出張所において開催し、入札結果は次のとおりです。

数量：13,550kg(542本) 取扱金額：16,198千円 平均単価：11,954円(10kg当たり)
最高入札額：稲取白田まくさ(粗) 19,010円(10kg当たり)

この結果、第4回までの取り扱い累計は34,465kg、1,381本(対前年比8,386kg、334本増)、取扱金額49,408千円(同11,367千円増)、平均単価14,335円(同252円減)となりました。

なお、次の入札会は9月8日(水)となります。

2. 「第56回全国漁港漁場大会」開催のお知らせ

豊かな沿岸域環境の創造と水産資源の持続的利用のための漁港漁場整備や、消費者の求める安心・安全な水産物供給体制の整備など、新たな漁村の活性化へ結びつける「第56回全国漁港漁場大会」(主催：全国漁港漁場協会)が来る9月14日、グランシップ(静岡市)で開催されます。

大会は、主催者の坂井 淳 全国漁港漁場協会会長の挨拶、石川嘉延県知事の歓迎のことばに続き、鈴木藤一郎県漁港漁場協会会長(伊東市長)が議長となり、議事を進行し、山本節子県JF女性連会会長が大会アピールを朗読します。

来賓には、亀井善之農林水産大臣、竹山 裕漁港漁場整備促進議員連盟会長、植村正治 全国豊かな海づくり推進協会会長らが出席し、全国から集まった約2,600人の関係者によって、漁港整備、災害時の防災と危機管理対策の推進などを掲げた大会決議を行い、漁村の将来像を考えるとともに漁村の発展を目指します。

また、最近では消費者の食への安全性に関心が高まっているほか、東海地震の発生の危険性が高まっています。しかし、漁港の衛生管理や津波、高潮への安全対策は不十分との声が多く、今大会を通じて水産業界の現状を全国に発信します。

また参加者は、県内の漁港(宇佐美・西浦・用宗・焼津・福田・舞阪)を視察し、これからの課題を探ります。

3. 平成17年度水産予算概算要求額まとまる 3,271億円 前年度比15.3%増

水産庁では、平成17年度水産予算概算要求をまとめ、このほど開催された自民党農林水産部会、水産総合調査会合部会に提出し了承されました。

それによると水産関係の概算要求の一般会計総額は3,271億1,900万円で、前年度予算に比べ15.3%増加となり、平成17年度の予算要求の特徴は、

「海の恵み」の持続的な利用 安心で安全な水産物の生産・供給基盤の整備 多面的機能を発揮する水産業・漁村の支援の四本柱を重点施策とし、随所に新規事業を盛り込んでいます。

では、経営状況の悪化、魚価の低迷等の状況に対応して、経営の改善・再建を図る漁

業者等への支援や魚価の安定と漁協等の販売力・体質の強化を行うほか、技術革新、内水面漁業の振興を支援し、元気が出る水産業の確立に71億600万円を要求。

では、持続的な利用が可能な水産資源について、水産資源調査の充実を行い、より適切な利用及び管理を実現するための体質を整備するとともに、国際的な資源管理を推進し、豊かな海の再生とつくり育てる漁業に495億8,500万円を要求

では、安心して安全な水産物の生産供給のための漁港における衛生管理機能を充実し、水産加工場のHACCP導入を促進するための環境整備に386億5,500万円を要求。

では、離島における国境監視機能の持続増進を図るため、漁業集落が共同で行う監視の取り組みに対し支援するとともに、都市と漁村の共生・対流等による漁村の活性化や漁村の総合的な整備等に197億1,300万円を要求。

4. 平成16年上半期家計調査報告まとまる

総務省ではこのほど、家計支出(家計調査報告、全世帯)の平成16年1月から6月(上半期)累計を発表しました。

それによると1月から6月までの消費支出は1,824,660円で前年同期比1.9%増とわずかに前年実績を上回りました。そのうち食料は439,836円で、ほぼ前年並みを維持しましたが、そのうちの魚介類は45,203円で前年比3%減と、消費支出は増加したものの、魚介類に対する支出は伸び悩む結果となりました。

上半期における魚種別の購買状況を見ると、購入量、支出金額ではほとんどの魚種で前年を下回り、特にカツオは購入量で10.4%減、支出金額でも11.3%減と、前年が豊漁で単価も安く、よく消費されていたのに対し、今年は不漁で値上がりしたことが影響したようです。このほかサバも購入量は前年並みでしたが、単価面で支出金額は3.1%減となり、イワシも単価安が好感され購入量で6.3%増となりましたが、支出金額は4.5%減となりました。また、塩干魚介類は支出金額で2.7%減で、購入量は前年と同数となりました。

こうした中、購入量と支出金額も前年を上回ったのがタイで、購入量で6.7%増、支出金額では1.5%増となりました。

5. 焼津漁協 ホームページ開設

焼津漁協ではこのほど、ホームページを開設したのでお知らせします。

ホームページでは、焼津の漁業のことや漁協のあゆみを写真を交えて紹介したり、魚市場の水揚げ予定や相場情報など浜の情報発信をしています。また、小学生向けに水揚げの様子を動画で伝え、漁業Q & Aや漁業資料館展示品の解説などのコンテンツも用意し、魚食普及としてマグロを中心に直販所が産直通販を行ったり、本日のおすすめ品などを紹介しています。また、携帯電話からも水揚予定、入札予定船、水揚相場情報などがご覧になれます。 問合せ先：焼津漁協 TEL054-628-7112 FAX054-628-7131

ホームページアドレス = <http://www.yaizu-gyokyo.or.jp/>

6. 諸会議・日程(9月7日(火)～9月20日(月))

- 既報分省略 -

9月14日(火)～15日(水) 共水連県事務所 = 基幹職員養成講座 (藤枝エミナース)

9月17日(金) 県ふぐ漁組合連合会 = 組合員会議 (三溪園)